

## PLoS の著者手数料が急上昇：オープンアクセス出版社は出版手数料を最大 1,000 ドルまで値上げ (David Secko)

Secko, David. Author fee spikes at PLoS: Open access publisher increases publication charge by up to \$1,000. *The Scientist*, June 2006. <<http://www.the-scientist.com/news/daily/26379/>>

オープンアクセス出版社 Public Library of Science (PLoS)<sup>1)</sup>は、2003年の開設以来出版手数料を初めて値上げし、その割合が元の価格の最大 2/3 まで急上昇しつつある。オープンアクセス<sup>2)</sup>・モデルの擁護者は、手数料の上昇が論文の出版にかかる費用を反映しており、出版社やモデルの失敗を唆示していないと述べている。

7月1日から、著者が製作費の埋め合わせに支払う手数料は、PLoSの最重要雑誌 (*PLoS Biology* および *PLoS Medicine*) が 1,500 ドルから 2,500 ドル、他の雑誌が 2,000 ドルに値上りするだろう。

PLoS の出版責任者 Mark Patterson<sup>3)</sup>は、「手数料が上がったのは雑誌の運営費用をしっかりと反映するようにしたためだ」と語った。「私たちはゆっくりとだが確実に財面で持続可能な組織を目指すべきであり、これは私たちを軌道に乗せるのには不可欠である」と Patterson は *The Scientist* 誌に語った。彼は、雑誌が金銭的な問題を抱えていないし、それどころか科学コミュニティが費用をもっと吸収できるところまで雑誌が成長したのだと語った。

Public Knowledge の Open Access Project の責任者 Peter Suber<sup>4)</sup>は、PLoS の出版物手数料の値上りは出版社が苦境に陥っている兆候ではなく、オープンアクセスの事業モデルの成熟を示しているだけに過ぎないと考えていると語った。「私たちは大雑把にいて [1 論文当たり \$2,500 が] *PLoS Biology* のようなオープンアクセス雑誌で質の高い、査読済みコンテンツを送付するのにかかる費用である、と感じ始めている」と Suber は語った。

実際、PLoS が 2003 年に始まったとき、オープンアクセス雑誌の運営経費についてもっとよく知るために出版手数料を調整するよう警告を受けた、と Patterson は語った。2003 年以降、オープンアクセスへの熱狂が高まり、Patterson はウェルカム財団 (Wellcome Trust)<sup>5)</sup>が現在、科学者に対してオープンアクセスの費用を支払い、連邦政府資金による研究 (federally funded research) を無料でインターネット上に置くことを義務化しようとする法案<sup>6)</sup>が、最近米国上院に提出されたことに注意した。「色々な運動から見て、変える時期に来ているように思われる」と Patterson は述べた。

他のオープンアクセス出版社であり、*The Scientist* の姉妹会社である BioMedCentral<sup>7)</sup>の発行人 Matthew Cockerill<sup>8)</sup>は、オープンアクセス雑誌について論文の出版手数料<sup>9)</sup>が約 2,000 米国ドルから 3,000 米国ドルに集中しつつあると述べた。BMC の 1 論文当たりの現行手数料<sup>10)</sup>は、605 ドルから 1,750 ドルであり、「この手数料を変えつつあると」彼は *The Scientist* 誌に語った。「私たちの費用が的確であると感じるようなものに」

「どのようなシステムであれ、平衡を見いだすのに時間がかかる」と Cockerill は語った。「PLoS や BMC が行うような出版手数料を調整は、物事が落ち着くプロセスの一部である。」 Springer のようなずっと規模の大きな出版物は 3,000 ドルの手数料を取るが、「一部の出版社が 1,500 ドルか 2,000 ドルで収支がとれているのを見れば、現行現在の料金を取るのが難しいとわかるだろう。」と彼は付け加えた。

さらに、Patterson は PLoS の手数料の値上りは一部の著者にとって障害になるかもしれないと認めた。「一部の科学者は新しい出版手数料の支払に必要な助成を利用する手段を持たないかもしれない」と Patterson は述べ、「私たちはこれによって誰かが偉大な著作の利用を妨げられることを望んでいない。」したがって PLoS は、著者が出版手数料の支払をしない要求ができる、手数料免除方針 (fee waiver policy) を依然として保持していると彼は語った。

そして、少なくとも生物医科学では、一部の助成機関が科学者にオープンアクセス雑誌へ出版するために特化した研究助成を提供しつつある。「PLoS や BMC は科学コミュニティとともに進化し<sup>11)</sup>、」と Cockerill は述べ、「経済的側面は何とかなりつつあるのだ。」

## 本論文へのリンク

- 1) Public Library of Science (PLoS), Publishing Model  
<http://www.plos.org/journals/model.html>
- 2) S. Pincock, "UK committee backs open access," *The Scientist*, July 20, 2004.  
<http://www.the-scientist.com/article/display/22299/>
- 3) Mark Patterson  
<http://www.plos.org/about/people/publishing.html>
- 4) Peter Suber  
<http://www.earlham.edu/~peters/hometoc.htm>
- 5) "Wellcome Trust position statement in support of open and unrestricted access to published research," February 9, 2006  
[http://www.wellcome.ac.uk/doc\\_wtd002766.html](http://www.wellcome.ac.uk/doc_wtd002766.html)
- 6) T. Agres, "Publishers, societies oppose 'public access' bill," *The Scientist*, May 11, 2006.  
<http://www.the-scientist.com/news/display/23426/>
- 7) BioMedCentral  
<http://www.biomedcentral.com/home/>
- 8) Matthew Cockerill  
<http://www.biomedcentral.com/info/about/whoweare>
- 9) BMC, A comparison of open access publication charges  
<http://www.biomedcentral.com/info/authors/apccomparison/>
- 10) BMC fees  
<http://www.biomedcentral.com/info/about/apcfaq#howmuch>
- 11) S. Blackman, "BioMedCentral faces angry editors," *The Scientist*, May 1, 2006.  
<http://www.the-scientist.com/news/display/23352/>